



クローバー動物病院

だより 第7号



今回は、しつけ②についてです。

しつけ

1 ぜひ教えておきたいしつけ

- ・排泄のしつけ
- ・オスワリ
- ・マテ、フセ、おいで
- ・人を咬ませないしつけ
- ・人と一緒に歩くしつけ
- ・むだ吠えしないしつけ
- ・人に飛びかからないしつけ

2 **オスワリ**：命令をかける時に犬がとる基本姿勢です。アイコンタクトを取る場合もこの距離が基本となります。これができれば次の「フセ」や「マテ」などにも移行しやすくなります。



方法

- ①ほうびを持った手を犬の頭上へ持って犬に見上げるようなポーズをとらせる。
- ②ごほうびを犬の頭上のやや後方に持っていく。
- ③座ったら、「おすわり」と声をかける。
- ④できたらほめて、ほうびを与える。

3 **フセ**：「ふせる」ということは通常では従属的な行動です。「フセ」をすることによって飼主に対する服従心を向上させます。この命令はブラッシングの時や犬のおなかをさわろうとした時に役立ちます。

方法

- ①オスワリの状態から、ほうびを持つ手を犬の鼻先から下へ下げる。こうすると、犬はほうびに引かれて、鼻先を地面に近づける。
- ②続いて食べ物をやや前方に引くと犬は自然にフセの姿勢になるので、「フセ」と声をかける。できたら、うんとほめて、ごほうび。

※うまくいかないときは、脚の下をくぐらせ、上から犬のおしりをそっと押すとよい。





4 マテ: 「マテ」も「フセ」と同じように飼主に対する服従心と忍耐力を向上させます。従順にしていれば楽しいことがあるということを教えるのです。



方法

- ① まず、「オスワリ」の状態にする。
- ② つぎに「マテ」の号令をかける。
- ③ 必ず解除の言葉（「ヨシ」など）をつけ、ごほうびを与える。
- ④ 始めのうちは、時間や距離を短くし、徐々に長くしていく。
- ⑤ つぎに「フセ」の状態と同じように教える。

5 おいで: 犬を呼んだらすぐ来るようにする命令です。“呼ばれてくる”ということは、犬が飼主に服従を示しているからです。また、犬がこの命令を守ることができるようになれば、いつかきっと犬自身の命を救うことができるようになります。



方法

- ① 始めはごほうびをみせる。
- ② 後ろに下がりながら、犬を呼ぶ。
- ③ 十分に引き寄せてから、ごほうびを与える。

- ☆ 最低でもオスワリ、マテは出来るようにしましょう。
- ☆ 最低でも家族の言うことを聞くようにしつけましょう。
- ☆ これらのしつけができていないと、病気になったとき、薬をのませたり、治療することが困難になってしまいます。
- ☆ できれば、小さいときから、おなか、耳、など敏感な部分を触られることに慣れておくといいでしょう。